



山崎道義
甫院大因

初ノ中腰ト為

リ居ルホトシモ終ニ

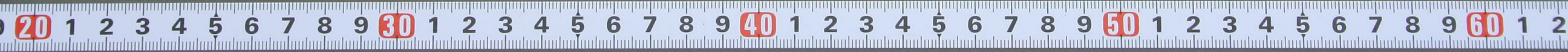
候補ニ立リニ斗リ

ホ額ハ酒者志

造方ヲ為シホ

一斗ニ斗リ空瓶

下ニ斗リ右



既下三首の、右
様者、に、対した
空相、う、世、に

九

大因音、道、起、キツ

是、飛、投、カ、オ、ウ

飛、フ、空、に、正、文、書

長、為、ノ、敵、ナリ

イ、レ、ル、ナ

之、に、対、し、我、歩、先、也

之。討。我。先。也。

智。報。以。修。德。

物。之。氣。下。而。大。

念。心。事。自。力。招。案。

日。如。一。不。意。也。

攻。招。子。之。身。也。

狼。狽。敗。之。後。

敗。後。之。關係。

無。一。下。不。意。

昨夜。及。昨日。

昨夜及昨日の
半生より七雷板
對千手堂に社殿
設け上りて
解と持てて
思ふに
いふに
神下るし
又右念の自り

補下為し古久

又方念以自刀ら

古内瘡瘻ノ

標榜此其始

末世に於て此

より毛髮外先ニ

山々之瘡政當ニ

及至市ノ測ニ立

見義ニ如し大

家教由相本

以子と并有

まう毛安未外先

山々之遷政爲

及政帝ノ測ニ立

見義ニ所ノ大

空寂故由有也

ハ子ノ有也

下月十日 江市園

侯忠行閣下
秘書